型安全

Ocsigenによる Webアプリケーション

今井 敬吾

OCaml-Nagoya

2009/8/30, OCaml Meeting Tokyo 2009

@ 東京大学本郷キャンパス山上会館

Ocsigen: OCamlの Webアプリケーションフレームワーク

- Webアプリの表現力と安全性の向上を目指す
 - できるだけ静的型付けで安全性を保証
- 論文が ICFP 2009 に出てます (*)
 - これからも注目されるでしょう



(*) V. Balat, J. Vouillon and B. Yakobowski, Experience Report: Ocsigen, a Web Programming Framework, International Conference on Functional Programming, ACM, 2009.



Ocsigen

Fresh air in Web Programming

Ocsigen & Eliom

- Ocsigen
 - OCamlで書かれたWebサーバー
- Eliom
 - Ocsigenで動くWebアプリフレームワーク
 - (Eliom = フランス語で ヘリウム (Helium))
- Eliom について話します

Eliomのボイント

- -XHTML (XML) 型付け
 - valid な XHTMLのみを生成する
- 2.サービスとリンク・フォームの型付け
 - リクエストパラメータの不整合がない
- 3.DBアクセスも型安全
 - PG'OCaml を使った型安全DBアクセス

XHTML型と XHTML.Mモジュール

- XHTMLの要素を返す関数が提供されている
- 型は XHTML の DTD を(だいたい)忠実に再現
 - 構造多相がある OCaml ならでは
- 例

```
html (head (title (pcdata "Hello")) [])
  (body [h1 [pcdata "Hello,World!"]])
```

多相バリアントと XHTML型

例えば、body 関数は

- …という型をもつ.
- ・ [< ...] は 高々 ... しか含まない, という型.

EliomのCamlp4拡張: XHTML構文

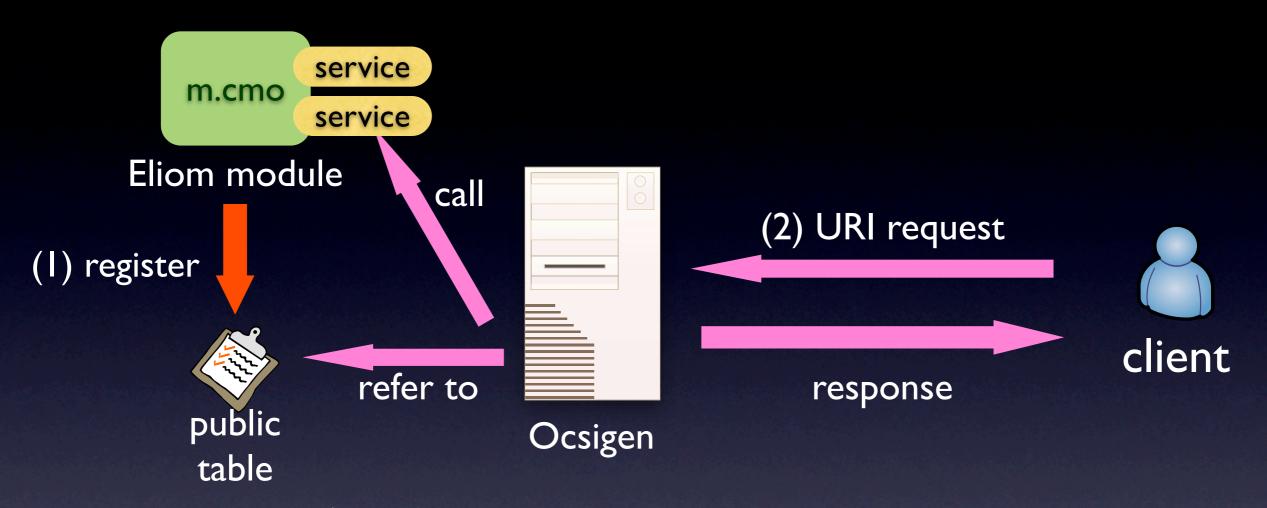
- << ... >> 部分にXHTMLリテラルを配置
- XHTML 中 \$... \$ 部分に OCaml の式を配置
- 例

サービスとリンク・フォームの

型付け

- Eliom において、URI は「サービス」と 対応づける
- サービスは、リクエストパラメータの型をもつ
- サービスと、リンク・フォームから送信される リクエストパラメータとの整合性は 型で保証される

Eliomサービスの登録と実行



- (1) OcsigenがモジュールMを動的ロードすると Mのトップレベルが実行され、 Ocsigenのpublicテーブルに、URIとサービスが登録される.
- (2) ユーザが URI をリクエストすると, public テーブルで解決されたサービスが動作する.

Eliomサービスの登録: こんな風に書きます

```
let hello =
                           register_new_service で
 register_new_service
                          URI とサービスを定義&登録
  ~path:["hello"]
  ~get_params:(string "name")
  (fun _ name _ ->
               → http://localhost:8080/hello?name=keigoi
   return
    << <html> ...
     こんにちは、$ pcdata name $ さん 
         </html> >>)
```

register_new_service:

3つのパラメータ

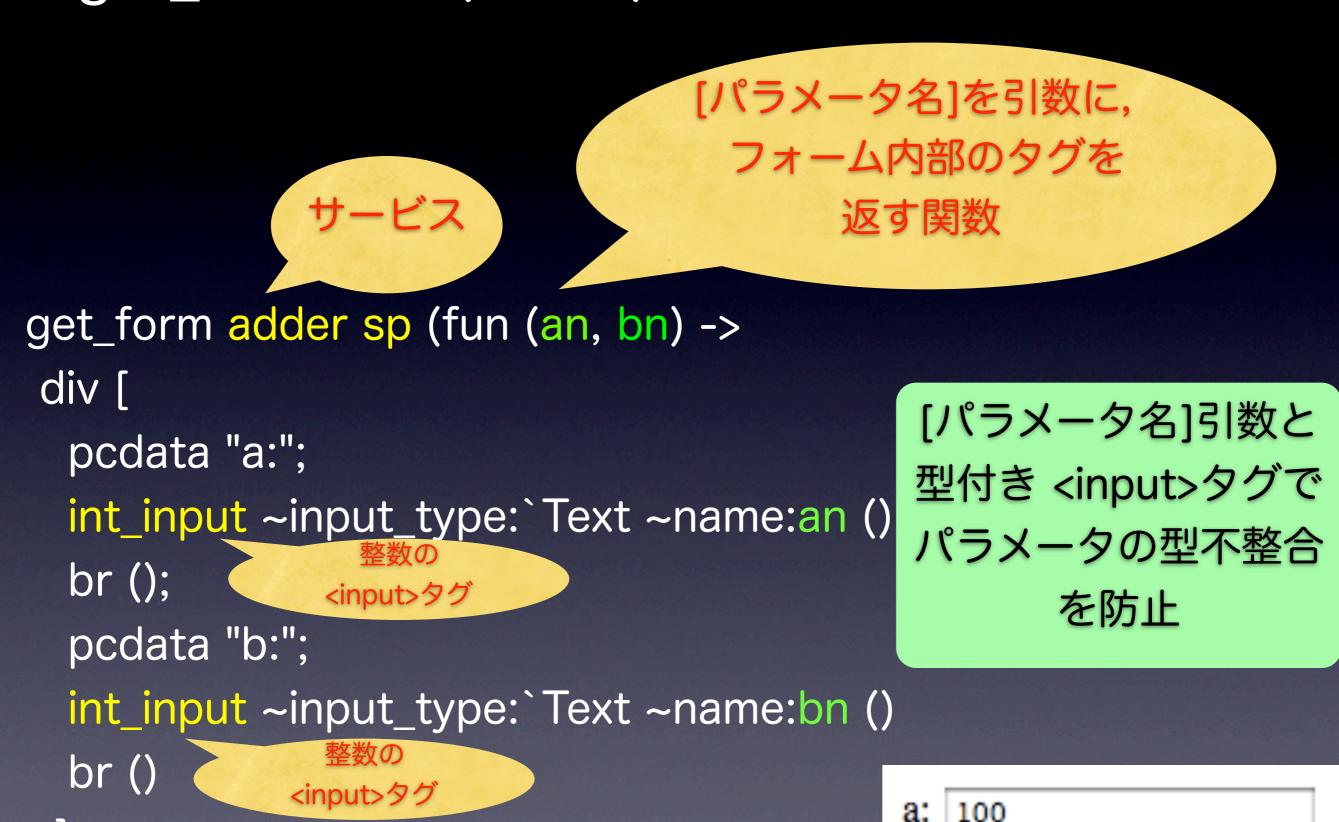
get_params引数で リクエストパラメータ の名前と型を指定

サービス本体は 型付きのパラメータを 受け取れる

\$ pcdata (string_of_int (a+b)) \$ </html> >>)

→ http://localhost:8080/adder?a=10&b=20 でアクセス

get_form関数(3引数)で型付きフォーム生成



aaa

PG'OCaml: DBアクセスも型安全に

- OCaml に SQL を埋め込み
 - -> prepared statement に変換される
- 型安全!
- らくらくDBアクセス!
- O/R mapping なんてヘヴィなものは要らない
- .NET の LINQ to SQL の簡易版のようなもの

まとめ:

Eliomのポイントおさらい

- -XHTML (XML) 型付け
 - valid な XHTMLのみを生成する
- 2. サービスとリンク・フォームの型付け
 - リクエストパラメータの不整合がない
- **3.** DBアクセスも型安全
 - PG'OCaml を使った型安全DBアクセス

OCamlで表現力が高く、かつ安全な Webプログラミング

もっと知りたい方へ

- 簡単なサンプルを置きましたのでそちらをどう
- サンプル(tar.gz): http://bit.ly/jaPEI
- サンプル解説: http://bit.ly/hhOd1
 - (http://d.hatena.ne.jp/keigoi/20090829/1251533218)
 - "keigoi の日記"でweb検索すれば出ます

ご清聴ありがとうございました。

説明しなかった機能

- POST
 - POST の URI をGETした時にどのサービスを動か すか(fallback)を指定する必要がある
- Coservice
 - URI に対して別のサービスを割り当てる (セッションで使う)
- セッション
 - 継続サーバーのように(も)書ける

ビルド/配備

- Findlib / Omake を使えば簡単!
- ocamlfind でコンパイル (私がよく使うもの)

```
ocamlfind ocamlc -c -package
extlib,ocsigen,calendar,pcre,threads,pgocaml,pgocaml.statements,
ocsigen.xhtml.syntax -syntax camlp4o -thread ファイル名.ml
```

- これでXHTML構文/PG'OCaml構文も使えます
- ocsigen.conf (/myapp/ に配備するとき)

```
<site path="myapp" charset="utf-8">
    <eliom module='/path/to/ファイル名.cmo'/>
</site>
```

OMakefile

OCAMLPACKS[] = extlib ocsigen calendar pcre threads pgocaml pgocaml.statements ocsigen.xhtml.syntax

OCAMLDEPFLAGS += -syntax camlp4o
OCAMLCFLAGS += -thread -syntax camlp4o

FILES[] = ファイル名I ファイル名2

LIB = ライブラリ名

.DEFAULT: \$(OCamILibrary \$(LIB), \$(FILES))

できた ライブラリ名.cma を ocsigen.conf に書く

Java Webプログラマから見た Eliom

- 基本的なエラーはコンパイル時かサーバ開始 時に殆ど検出される
- ・必要なコード量が圧倒的に少ない!
 - 設定ファイル不要
 - Struts: web.xml, struts-config.xml, ...
 - Ocsigen: ocsigen.conf
- NullPointerException を意識しなくていい!

Eliom の難点 (1)

- 入力値検査の エラーハンドリングが貧弱
 - エラーの場合 フォームの再入力が必要
 - (Struts 1 の Action Form のような仕組 みが欲しい)
- パラメータが増えるとものすごく面倒

let entryform ?exns sp =
post_form ~sp:sp ~service:entry (fun
 (username,(password,(passwordDummy,
 (kanjiFamilyName,(kanjiPersonalName, (...計40のパラメータ)

一見さんお断りな service型

の複雑さ

• サービスの型 ... 長ッ!

```
(unit, string * (int32 * string),
  [> `Attached of
       [> `Internal of [ `Coservice | `Service ] * [> `Post ] ]
       a_s ],
  [ `WithoutSuffix ], unit,
  [ `One of string ] param_name *
  ([ `One of int32 ] param_name *
  [ `One of string ] param_name),
  [> `Registrable ])
  service
```

service型のパラメー

('get, 'post, 'kind, 'tipo, 'getnames, 'postnames, 'registrable) service

- 'get, 'post .. リクエストパラメータ
- 'kind … attachedか否か, serviceかcoserviceか, etc.
- 'tipo ... URI のサフィクスをリクエストパラメータにするか否か
- 'getnames, 'postnames ... リクエストパラメータの名前
- 'registrable ... register できるか否か

(果たしてこれだけのパラメータが本当に必要か?)

OCamIDuceとの連携

- OCamlDuce: XMLの"型" (DTD, XML Schema, ...) を扱える OCamlの拡張
 - より XHTML DTD に忠実
 - 使ってません… 当面 XHTML.M で十分?
- 利点:XHTMLに対してパターンマッチできる
 - (Eliom の XHTML.M はできない)

PG'OCaml のクエリ例 (1)

```
let insert name age address =
PGSQL(dbh)
```

"INSERT INTO mytable(name, age, address) VALUES (\$name, \$age, \$address)"

- コンパイル時に DB に接続し SQL から prepared statement を作る
 - ここでは name, age, address の型が推論 される
- NOT NULL でない列は option 型になる,

PG'OCaml のクエリ例 (2)

let row dbh = PGSQL(dbh) "SELECT name,age,address FROM mytable"

- クエリの結果はタプルのリストで帰ってくる
- この関数の型は
 handle -> (string * int32 * string) list